



一般社団法人 関西建築構造設計事務所協会

令和7年度8月 納涼例会

令和7年8月25日（月）、中之島ラブセントラルにて、一般社団法人関西建築構造設計事務所協会による納涼例会が開催されました。



第1部では、正木忠会長の開会挨拶に続き、樋笠康男事業担当副会長より理事会報告が行われ、各委員長から運営、経営、技術、事業、業務支援に関する活動報告がなされました。さらに、前川忠弘相談役によるFASA報告、司会者による行事報告が続き、賛助会員による技術紹介では、VSL JAPAN 株式会社が保有工法について、誠信 GLOCAL 株式会社がHU590材（大臣認定）を用いた回転貫入鋼管杭の工法について

て発表して頂きました。

第2部では、業務支援委員会の担当により、大阪工業大学工学部建築学科の向出静司教授を講師に迎え、「鋼構造建築物の倒壊挙動」をテーマとした講演が行われました。講演後には、参加者との間で活発な質疑応答が交わされ、充実した内容となりました。



第3部の交礼会では、正木会長の開会挨拶に始まり、山本雅之事業委員長による主旨説明、大野義照顧問のご挨拶、そして西邦弘名誉会長兼相談役による乾杯の発声を経て、参加者同士の歓談が和やかに進みました。最後に、樋笠副会長の閉会挨拶をもって、盛会のうちに終了いたしました。

